



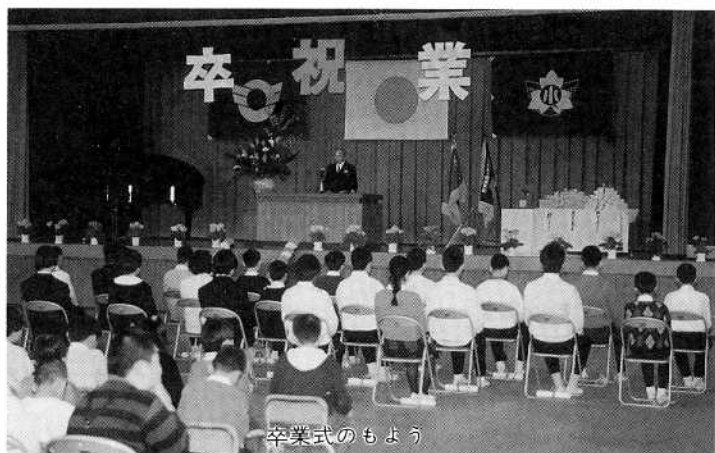
在校生の拍手でお別れ

## 春・別れ・涙・笑顔……

春は別れの季節、出会いの季節。

3月25日、東白川小学校の卒業式が行われました。今年の小学校の卒業生は50人。1人1人が六年間の思い出を宝物に巣立って行きました。

卒業式の式典後は、小学校ですっかり恒例となった“さよなら街道”。在校生が卒業生とご父兄を正門から拍手で送り出します。この道を渡って春からは中学生としてさらに大きく羽ばたいていくことでしよう。



卒業式のもよう

# 広報 ひがし しらかわ

1993  
平成5年

4

No.383

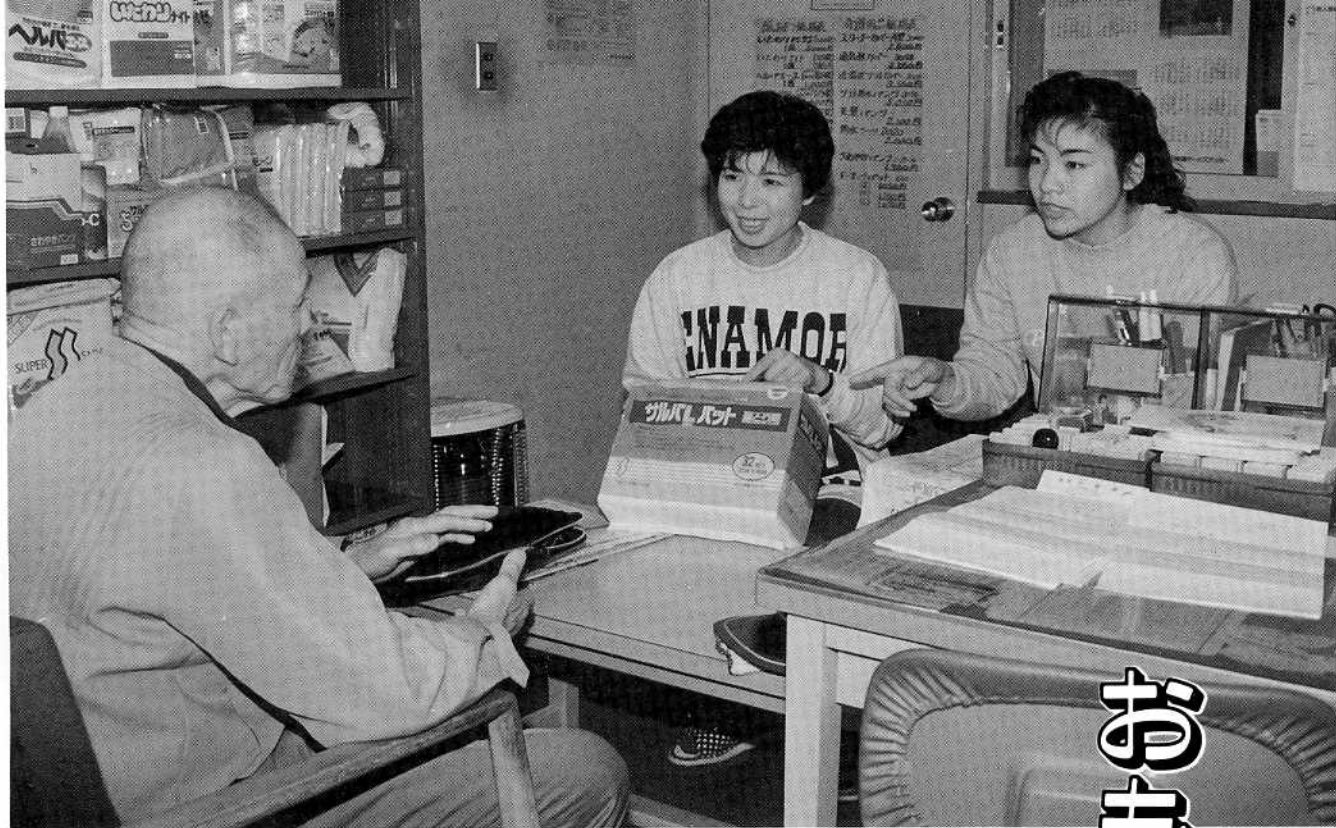
●発行/東白川村  
●編集/企画財政課  
岐阜県加茂郡東白川村神土  
〒509-13 ☎05747(8)3111  
●印刷/下呂印刷株式会社

### 人口の動き

—3月末住民登録人口から—

世帯数	901世帯
人口	3,427人
転入	14人
転出	30人
出生	1人
死亡	3人

先月と比較して18人減  
昨年と同月と比較して  
22人減



# おもしろい心を持って

## 社会福祉協議会の活動に注目

「社協」の名で親しまれている東白川村社会福祉協議会。心かよう福祉の村をめざし、社会福祉法人として村に社協が誕生したのが、昭和六十三年。昨年は、将来の老人福祉を考えるうえで欠くことのできない高齢者生活福祉センター「せせらぎ荘」もオープンし、その活動もますます充実してきました。今月は、この夏満五歳となる社協の活動に注目してみます。

### 家庭介護を支援します

福祉は、「全ての人に等しくもたらされる幸福」を意味しています。この意味からも社協の活動は幅広いわけですが高齢者比率（全人口に六十五歳以上の人が占める割合）が二十四割を超える私たちの村では、老人福祉を優先し考えないわけにはいきません。村には現在、寝たきりや痴呆の症状の方など家庭介護を要するお年寄りが約五十人みえます。社協では、こうした介護を要する人が過ごしやすいように、



家庭介護教室

また、介護者の方の支援となるような活動を行っています。背もたれが〇度から九十度まで調節できるギャジベッドをはじめ長期間寝たきりによって起る床ずれの防止用エアーマットや車イスの貸し出しに加え、今年から入浴用の介護用品なども貸し出します。また、紙おむつや下着類、シーツなど日常の介護用品も取り扱っています。寝たきりのお年寄りを世話するごとは、実際に抱えている家族でしかわからない大変なことです。特に入浴や食事、排泄などは技

### 新しいヘルパーさん

昭和四十九年から長きに渡り、村の嘱託として、社協の職員としてホームヘルパーに活躍された平の安江トシ子さんが、この三月辞められ、それに伴い社協では、新しいホームヘルパー一名と新たにパートヘルパー二名を増員しました。



パートホームヘルパー 今井 桃子さん (大沢)  
 パートホームヘルパー 今井 香代さん (柏本)  
 ホームヘルパー 樋口美和子さん (西洞)

術的にも大変な問題です。

社協では、こうした皆さんの悩みを聞き、家庭介護の技術などを指導していく「家庭介護教室」を年数回開いています。

また、介護者のみなさんは安心して休むことさえもできません。昨年誕生したせせらぎ荘のサービスは、こうした皆さんに休む時間を提供することも一つの大きな目的なのです。

## ヘルパーを増員し、派遣活動も充実

独り暮らしのお年寄り、介護を要するお年寄りに対してホームヘルパーを派遣するのも社協の活動です。

ヘルパーのおもな仕事は、独居のお年寄りのお宅を訪ね、食事、洗濯、掃除など家事の援助はもちろんですが、寝たきりのお年寄りを抱える家庭へは、お



赤十字奉仕団のねまき作り

もに身体介護サービスを行います。これは、入浴や衣類の着脱など介護者一人では大変な時や、都合で介護者が家を空ける場合ヘルパーが訪問するものです。

ヘルパーの派遣は、社協が役場住民窓口で申請し、村へ登録をして行きます。現在、独居のお年寄りが、村に五十七人、この皆さんを含め登録している方は、二十人。今年から新しいホームヘルパー一名に加えて、新たに、例えば朝だけとか夕方だけといった具合に時間を決めて活動するパートホームヘルパー二名を設け、さらなる充実を計っています。



ボランティアスクール

## 大きく伸ばせ ボランティア活動

社協の活動の中でボランティアを育成していくことも重要な活動の一つです。

昨年は、福祉協力校である中学校のボランティアスクールも夏休み期間中に開講しました。村には、毎月一回独居のお年寄りに食事をお届けする「かすみ草」や七十歳以上の寝たきり

のお年寄りに手作りのねまきをプレゼントしている赤十字奉仕団などのボランティア団体が、

ありますが、こうしたみなさんの活動の支援も行っています。

## 若者の定着にも一役がこころを

高齢化社会を迎えている私たちの村では、老人福祉に重点を置くことは当然ですが、若者の定着を考えていくことも切実な課題です。

社協では、年五回の結婚相談所の開設のほか、ユニークな活動として白川町社会福祉協議会との協力により、若者たちに出逢いの機会を作る「青年フォーラム」を年二回開催。こうした活動の中から一組でも多くのカップル誕生が一番の願いです。



青年フォーラム夏期キャンプ

## ご理解とご協力が

### 社協を支えます

このほか社協では、毎月一回十日に行っている心配ごと相談や保育園保護者会、身体障害者東白川分会、母子寡婦福祉会など地域福祉団体への援助など幅広い活動を行っています。

このように多方面に渡る活動を行っている社協の運営費は、県、村からの補助金や委託金、および社会福祉協議会からの会費でまかなわれています。

この会員には、法人や企業などが加入する特別会員と一般会

員とに分けられますが、現在、特別会員五十一団体、一般会員七百六十五人です。

これからの時代は、「福祉の時代」といわれるようにさらに高齢化は進み、社協のこうした活動が最も大切になってきます。みなさんの温かいご理解とご協力が社協活動の支えとなっていくのです。

社会福祉協議会へご用の際は、直接村民センター内の事務局へ出向いていただくか、電話（併二〇九八・〇八二〇五九）でご連絡下さい。職員が明るい笑顔で皆さんをお迎えます。

## お年寄りが待っているから

「お年寄りが私が訪ねていくのを心待ちにしてくれるのが嬉しくて」と話してくれたのは、昭和四十六年から村のホームヘルパーとして活躍している五斗あいさん（陰地）。

五斗さんは、現在越原地区の十一軒のお年寄りのお宅を訪ね掃除や食事などから床屋に至るまで、いろいろなお世話をしています。ホームヘルパーになったきっかけは、当時病院の先生

に勧められたからとのこと。

「初めてお年寄りの家を訪ねる時は、お互いに気を使いますが、慣れてくると、いろいろ話もされます。単車で通っているのが冬など大変ですが、やりがいのある仕事だから」と話してくれました。

ホームヘルパー  
五斗あいさん





国道  
256  
ROUTE



# 村に国道が走る!

岐阜 ● 高富 ● 美山 ● 洞戸 ● 板取 ● 八幡 ● 和良 ● 金山

私たちの村には、これまで国道、水道、鉄道、信号、お寺などが無く、「ナイナイ村」と呼ばれたこともありましたが、昨年からはまった簡易水道に加え、この四月一日からは、村の道路の一部が国道に昇格しました。

## 国道名は

### 256号線

四月から私たちの村を走ることになった国道は、「二五六号線」。岐阜市から長野県下伊那郡上村まで走る道路となります。

岐阜市からの県内順路は、山県郡高富町を皮切りに美山町、武儀郡洞戸村、板取村を通り、郡上郡八幡町、和良村を経て益田郡金山町へ入り、国道四一号线を併用して加茂郡白川町上油井まで下り、ここから白川町佐見へ入っていきます。

東白川へは桜峠を越えて入り、白川街道(主要地方道白川加子母線)から恵那郡加子母村へ出て、国道二五七号線を併用し、付知町、福岡町、坂下町を経て、長野県へ入ります。県内の一市十三町村

を結ぶこの国道は、延長が百四十キロ余りとなります。

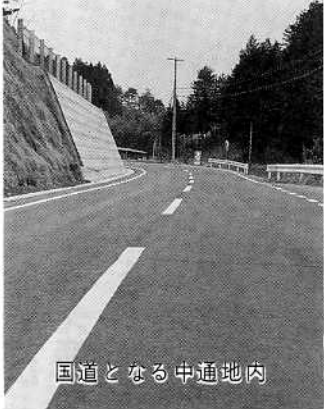
## 村内を走る距離

### は十二・三キロ

ところで、みなさんの最大の関心事は、「この国道がどこを通るか」ではないでしょうか。村内での延長は、十二・三キロ。

白川町佐見から桜峠を越えて村に入り、中谷、神付、中通を通って神土平今井米穀店前へ出て、白川街道を上って加子母村へ入っていくコースとなります。

いよいよこの春からは、村内に国道二五六と書かれた道路標識がお目見えします。



国道となる中通地内

今年1年  
よろしくお願ひ  
します

## 各団体等役員紹介

「春」は各種役員さんの改選の時期でもあります。平成五年度の各種団体長や役員などがこのほど決まりました。

四月から皆さんの代表としてお世話をいただく皆さんを紹介いたします。  
(敬称略)

### ◆事務嘱託員 〓組長

- 【神土】▼大口―今井和男▼平
- ―神戸奨▼下親田―安江計幸▼
- 上親田―安江将一▼中通―安江
- 俊郎▼神付―村雲當正▼中谷―
- 村雲義英▼加舎尾―田口良次▼
- 西洞―安江務

- 【越原】▼曲坂―苅田芳美▼日
- 向―安江久治▼陰地―桂川益夫
- ▼栃山―桂川喜郎▼黒淵―桂川
- 東▼大明神―熊沢英治

新しい先生どんな人かな 小中学校教職員

今年も四月一日付けで教職員の人事異動がありました。異動のあったみなさんは次のとおりです。(敬称略)

【転出された先生】

- ▼東白川小学校 ▲ 校長 中山健彦(坂祝町坂祝小へ) ▼教諭 桂川光弘(八幡町相生小へ)・古田かほる(白川町白川北小へ)・大塚由美(御嵩町御嵩小へ)・大塚芳樹(大垣市南小へ)

▼東白川中学校 ▲

- ▼教頭 村田貞夫(可児市蘇南中へ) ▼教諭 浅野義彦(岐阜市岐北中へ)・梅村高志(可児市中部中へ) ▼講師 安江篤(可児市中部中へ)・古田みゆき(白川町白川中へ) ▼事務 高澤哲也(朝日村秋神小へ) 【転入された先生】(敬称略)

▼東白川小学校 ▲



校長 木村 龍幸 (53歳一坂祝町) 川辺町川辺中から



教諭 岩腰 清 (38歳一中津川市) 中津川市第二中から



事務 広瀬 琢也 (22歳一兼山町) 新採用



教諭 松澤 朗 (34歳一多治見市) 多治見市陶都中から



教諭 神戸 誠 (37歳一東白川村) 川島町川島中から



教頭 中原 克仁 (42歳一岐阜市) 岐阜教育事務所から

▼東白川中学校 ▲



教諭 若尾 知加 (22歳一美濃加茂市) 新採用



教諭 渡邊 蘭子 (23歳一美濃加茂市) 新採用



教諭 田中 真 (25歳一御嵩町) 美濃加茂市加茂野小から

役場職員人事異動

四月一日付けで発令された人事により異動した職員及び新採用職員と退職者は次のとおりです。( )内は前所属課

【住民課】住民係

安江良浩(企画財政課)

【保健課】保健係

村雲修(林務商工課)

【農務課】管理係長

安江裕尚(保健課)

【林務商工課】林務係

安江誠(林務商工課)

【越原保育園】振興係

桂川憲生(農務課)

【越原保育園】

保母 今井美津子(神土保育園)

▼新採用 ▲

今井 明德 (柏本) 《企画財政課》 30歳

田口 神一 (神付) 《教育委員会》 18歳

今井 輝久 (平) 《教育委員会 スクールバス》 27歳

安江 淑久 (大明神) 《教育委員会 スクールバス》 29歳

今井 恵 (宮代) 《神土保育園 保母》 21歳

▼退職 ▲

▽若井新一(教育委員会) ▽若井信江(教育委員会) ▽田口浩由(住民課) ▽村雲峰子(農務課) ▽田口光洋(建設課) ▽嶋倉正充(教育委員会) ▽安江由美子(越原保育園)

【転出】(東白川病院) 杉山照幸医師(岐阜県立岐阜病院へ) (派遣社教主事) 井上光彦(美加茂市太田小学校へ)

【転入】(派遣社教主事) 守章 頼頼 (白川町白川中から) 41歳

【退職】農業普及員退職後の昭和六十二年から六年間、村の農業総括推進員としてご尽力下さった福田健先生が三月三十一日付をもって退職されました。

◆PTA

【五加】▼柏本一安江輝夫▼宮代一山口直視▼大沢一今井幸吉▼下野一熊崎喜久夫▼久須見一五十川幸司

【小学校】▼会長一栗本重秋(柏本)▼副会長一安江博(栃山)・今井直美(下野)

【中学校】▼会長一山下雅春(神付)▼副会長一安江司(西洞)・今井義信(下野)

◆子供会

▼会長一田口和道(加舎尾)▼副会長一田口喜章(神付)・今井明(曲坂)・古田節也(柏本)

◆高校生保護者会

▼会長一土井秀男(陰地)▼副会長一古田勝彦(平)・今井敏春(宮代)

◆婦人会

▼会長一桂川美智子(栃山)▼副会長一安江順子(日向)・今井典子(柏本)▼書記一安江すみ(大明神)▼会計一嶋倉美里(大明神)▼神土支部長一島倉淑子(下親田)▼越原支部長一熊沢梅子(日向)▼五加支部長一今井孝子(大沢)



どっしりとした構えで皆さんをお迎えます

ここには出逢いがあります

ここでは夢が生まれます

こもればの館いよいよオープン

昭和初期農家風  
時を超えた空間

玄関正面に立つてみると、あたかも武家屋敷を思わせるような豪荘なたたずまい。一歩足を踏み入れると、土間、囲炉裏、板戸：なにか懐しさが漂ってくるような施設、それがこもればの館です。

スポーツと文化の交流ゾーン「こもればの里」の総合運動場に次ぐ第二の施設として昨年九月から工事を進めてきた宿泊体験施設「こもればの館」の姿が、この三月ようやく整い、四月二十七日の竣工式を待つばかりとなりました。

予定では、五月二日、三日にみなさんを対象にした一般公開となりますが、ここではそれに先立って紙面を通して施設をご

私たちがお世話します

（株）ふるさと企画では、昨年運営を開始した「味の館」に加え、新たに「こもればの館」の運営をスムーズにより充実して行っていくため、四月から新職員三名を採用しました。（敬称略）



こもればの館業務係  
古田 伸江 (29)  
(黒淵)



こもればの館業務係  
田口みどり (22)  
(加子母村)



味の館主任  
榎間 昭二 (38)  
(白川町)

案内したいと思います。

まず玄関を入ると右手には、受付カウンターの事務室。

ここには（株）ふるさと企画の業務係二名が常勤し、施設の貸し出しや案内を行います。左手には

おしらせ

建築確認の申請書

（建築士）の皆さんへ

建築基準法施行規則（確認申請の様式）が、二月十五日から改正されました。

申請様式が全面的に変更されます。平成五年六月三十日までの期間は旧様式でも受け付けますが、早い時期に対応していただくようお願いいたします。

詳しくは、岐阜県建築士会へお尋ね下さい。

子宮がん検診について

三〇以上の女性の皆さん、子宮がん検診を受けたことがありますか。

女性特有の子宮がんは、早期に見つかればほとんど治ってしまいます。村内にも何名か子宮がんと言われた方がありますが、今も元気に生活してみえます。

あなたも恥ずかしくがらず、思

血液検査を

受診しましょう

今年も早朝血液検査を、五月十一日～十四日の四日間行います。

この血液検査では、わずか10mlの採血で十二項目の血液の状態がわかります。具体的に言うと、貧血、肝臓病、脂質代謝、血糖値などです。

当日の注意点は、朝食をとらないようにすることだけです。忙しい方でも早朝ですので仕事に出掛ける前に、ちょっと会場に立ち寄って下さい。詳しい日程は後日「ほけんだより」等でお知らせします。

あなたの健康を知る第一歩、血液検査をぜひ受けて下さい。







## 特産名人

飛驒・美濃特産名人に  
今井さんが認定

平成四年度「飛驒美濃特産名人」茶部門に、日向の今井眞平さんが認定され、この三月十六日に梶原県知事から認定証を授



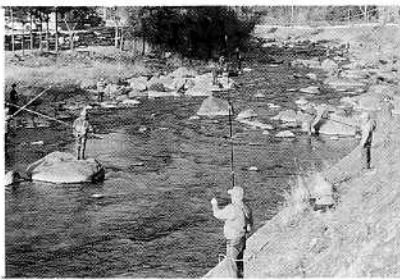
今井眞平さん

与されました。これは、野菜や果物、花きなどの生産に優れた技術を持ち、地域の銘柄産地化に貢献のあった生産者を対象にし、昭和六十三年から行っている事業で、村では二人めの快挙。

「これからも高冷地で条件の悪い中でも安定した収穫に努めたい」と喜びを語って下さいました。

## イベント

白川に春を伝える  
あまご釣り大会



愛好家には待望の季節到来！

今年で八回を数え、春のイベントとしてすっかり定着した感のある東白川中部あまご釣り大会が、三月二十日、越原藤の木橋えん堤から下流約一キロの区間で開かれ、県内外から約二百五十人が訪れました。今大会が、発足間もない観光協会の初仕事とあって、横断幕の作製や範囲の拡大など新しい試みも行われました。

## 学校自慢

この道を裸足で  
渡ればすこやかです



小学校の新しい名物になりそう...

平成四年、小学校が健康推進学校全国優秀校「すこやか賞」をはじめ、健康分野の三部門で県一位に輝いたことを記念して、小学校仲よし広場内に「すこやかロード」が設けられ、三月二十五日、卒業式に先立って渡り初めが行われました。これは、道といっても約三十分ほどのものですが、その間に、河原石あり、丸太あり、砂利あり

## 奉仕活動

「美しい花を咲かせ」と願いを  
こめて清楽会のさつき植樹



一本一本丹精こめて

「いつも使う所だから、花いっぱい飾りたい」。三月十三日、老人クラブ清楽会の皆さん二十人が、その活動の一環として西洞センター周りにさつき苗約百三十本を植えました。

古電柱を使い、即席花壇を作り、肥料の牛糞を入れ、苗を一本一本植えていく作業は、かなりの重労働ですが、そこは慣れたもの。新緑の季節を迎えるころには、鮮やかな花をつけるでしょう。

り...この上を裸足で歩き健康づくりに役立てようというもの。小学校では業間や体育の授業で活用していく予定です。

■戸籍の窓―敬称略(三月)



誕生おめでとう  
ごさいます

(宮代) 安江 道雄

千佐子 (長女) 由奈



いつまでも  
おしあわせに

桂川 辰也(陰地)

早瀬 豊子(中通)

松岡 正道(陰地)

梅田みさえ(加子母村)

おくやみ  
申しあげます

稲垣かつ江 89歳(陰地)

村雲 行夫 84歳(神付)

今井 京次 81歳(大沢)

■善恵の寄付―敬称略

〔中学校施設整備指定寄付金〕

現金百万円―笹俣勇夫(春日井市)

〔社会福祉施設整備指定寄付金〕

現金一百万円―匿名

〔社会福祉協議会へ〕



## 入退団式

「しっかり守るぞ！」先輩から託された防災の誓い

平成五年の消防団入退団式が、晴天に恵まれた三月二十一日東白川小学校校庭で行われ、退団者十一名に記念品と感謝状が贈られ、入団者二十四名へは辞令が交付されました。入退団者および新年度幹部辞令を受けた人は次のとおりです。

(敬称略)

- 定年退団された人
  - 【本部】分団長―安江宏
  - 【第一分団】分団長―中島清彦
  - ▼副分団長―大坪孝由▼部長―藤井悟、安江一郎
  - 【第三分団】分団長―牧野知幸
  - ▼副分団長―松岡安幸、桂川和巳▼部長―安江敏、今井幸彦



退団者を代表し 牧野知幸さんが謝辞

【ラッパ隊】部長―神戸誠

● 入団された人

- 【第一分団】今井芳秀(大口)・安江周哲、安江章浩(下親田)・瀧藤孝幸(上親田)・田口忠行(神付)・安江利修(加倉尾)・今井嘉徳(西洞)・栗本雄二(柏本)・安江幸喜(下野)・古田正広(久須見) 【第三分団】今井稔、安江広和、牧野勇三(日向)・安江武司、安江寛、松岡和彦、大坪七三男、河村真治(陰地)・高木誠(黒淵)・安江淑久、嶋倉秀範、熊澤敏彦(大明神) 【ラッパ隊】今井誠(平)・苅田隆司(陰地)

● 幹部辞令を受けた人

- 【本部】団長―中島潮巳▼副団長―安江美好、安江祐策▼部長―予防・苅田和博、訓練・高井三郎、ポンプ・古田節也▼分団長―小池毅 【第一分団】分団長―村雲知巳▼副分団長―中島甲子生、村雲利治 【第三分団】分団長―安江章吉▼副分団長―安江隆明、安江健郎 【ラッパ隊】隊長―今井孝司▼副隊長―古田俊之

## 活動充実

ひとまわり大きくなった頼もしい応援団



懐かしい顔が集まって

東白川中京村人会の第二回総会が四月四日、犬山市において会員百名が参加し、盛大に行われました。発足一年を経過し、会員数も二百二十五人となった同村人会に参加した皆さんの話題はもっぱら「ふるさと談議」。折りしもこの日は、犬山祭り当日。祭り気分も手伝って、ふるさとへの熱い思いが花開きました。

## 新作発表

四季おりおりの彩り添えたふるさと味の「長寿膳」



長寿膳(春)

こもれびの館の目玉として考案されていた「長寿膳」がこのほど完成しました。これは昨年梶原県知事米村の折、「長寿膳を作っては」とのヒントから考えられたもので村おこし事業の一環として郷土料理分科会の皆さんが作成。すぐに対応ができ、村で一般に食べられるものを集めました」と同会代表吉村隆男さんは話して

- 現金五十万円▶村雲孝平(日向)
- 現金五十万円▶稲垣彰(陰地)
- 現金千六百元▶東白川村婦人会(牛乳パック回収代金)
- 現金千円▶匿名
- 現金一万円▶杉山照幸(東白川病院)
- 【東白川小学校へ】
- 苗木六品種十八本▶岐阜県林政部▶三角馬用間伐材▶東白川村森林組合
- 【越原保育園へ】
- CDラジカセ▶平成四年度卒園児保護者一同▶絵本十五冊
- 保護者会退会者五名▶整理だんす▶安江由美子(柏本)
- 【五加保育園へ】
- ひな人形▶五加保育園児祖母・独居老人有志▶お茶一。
- ▶常磐園▶わらぞうり四十五足▶今井利一(下野)▶CDラジカセ▶ブランコ一台▶平成四年度卒園児保護者及び保護者会▶電気ポット▶古田啓治郎(久須見)・今井日出明(下野)

が楽しめます。

このコーナーの子どもたちみな同い年。  
10年後、20年後「広報」をみればホラ！  
1歳のあの子の顔が……



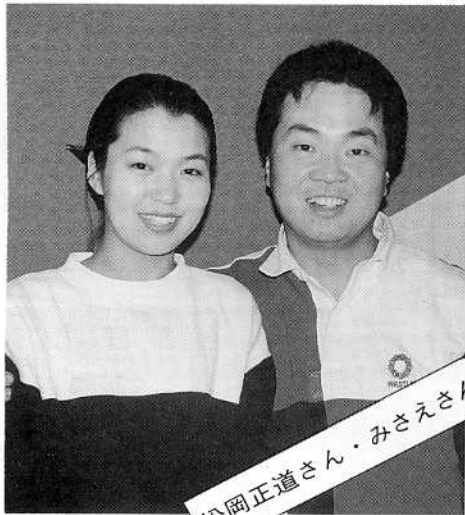
▲安江あずみちゃん  
(武司さん・みどりさん長女＝陰地)

満1歳

# ふれあい広場

## 新婚さん♡

■ワン・ショット■



松岡正道さん・みさえさん

この写真は引きのぼしてお二人に進呈します。

三月三日、ひな祭りに結婚。今月ご紹介するのは、松岡正道さん、みさえさんご夫妻(陰地)。

高校時代、同級生で、クラスも同じになったことがあるというお二人だけに、実際は、学生時代から続いているかと思いきや、本格的に付き合いが始まったのは、一年前からのこと。

昨年冬六人のグループでカナダへ一週間のスキー旅行に出かけたことをきっかけに急接近したお二人、帰国後、間もなく「結婚して下さい」と正道さん男らしくプロポーズしたとか。

奥さんみさえさんは加子母村の出身ですが、「まわりの人が楽しい人ばかりで」とご主人同様、東白川村のこともお気に入りのご様子。

「子どもは、最初が男の子で二人」というのは、お二人共通のご意見。

見ているだけでほほえましくなるようなさわやかなカップルです。

## ふるさと道目的生活史 12

### 算盤(そろばん)

役場の新庁舎建築のため、現在の庁舎が解体されることになった。すでに仮庁舎(村民センター)への引っ越しも終わり、建築以来百二年目にして初めて無人の館となった姿を見て、感慨にふける人も多いでしょう。

実に多くの書類や事務用器機が持ち出されて、ガランとなった事務室の片隅に、そろばんがひとつほこりにまみれて残されていました。

我が国伝統のこの計算用具が、実際に役場の事務にひんばんに使われていたのはいつごろまでだったのでしょうか。

そろばんが使われなくなり始めたのは計算機が登場したためですが、それは昭和三十年代の終りから四十年代の始めです。

もちろんそのころの計算機は手動回転式、五×二は五の数字までレバーを動かして胴を二回回転させるといふもの、その度

にベルがチンチンと鳴る賑やかなものでした。

しかしこのころはまだそろばんも勢力が強く、計算機と肩を並べて活躍していました。

計算機は計算の過程をすっきり機械にまかせてしまいますが、そろばんは覚え込んだ指の動きと人間の頭脳の働きが連動しています。まさに熟練の世界ですから、それまで長い間そろばんを使って来た人は計算機よりよっぽど信頼できたし、計算も早かったです。

しかし卓上計算機からコンピュータと進むにつれて、そろばんはだんだん忘れられて行きました。役場職員の多くがそろばんを使えない(その代りにコンピュータが使える)人になって来たわけです。旧庁舎百二年の歴史といっしょに、そろばんも姿を消しました。





一度のぞいて  
みてください

株ふるさと企画 安江豊司

桜にたとえるなら販売施設は「七分咲き」でしたが、つちの

こ館の完成はまさに「満開」といえるでしょう。

入口を入っ

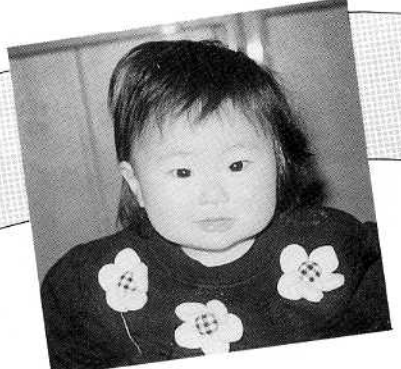
健康野菜のふるさと市、店内には、白川茶はもちろん木工商品に至るまで所狭しと商品がみなさんのおしをお待

ていただくと村内産  
清流白川の流れを見るのも一興。また、観光客や釣り客の案内

し、この資料館だけは有料となります。大人は三百円、子ども（中学生まで）が、百円です。店内では、白川茶の試飲サービスも行います。香り豊かな白川茶を飲みながら、ペランダから

ちしています。また、この施設のもう一つの目玉は、「二階の「つちのこ資料館」。これは日本初の資料館で、貴重なつちのこに関する資料や、動くつちのこの模型も六台あります。

「ハイ！こつちむいて」  
四月六日、小学校入学式での記念撮影前の一コマ。長時間の入学式で少々疲れぎみの子、後ろに並んだ友だちが気になる子…でも撮影は、パツチり笑顔で大成功



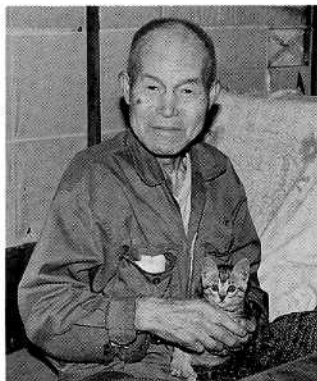
▲古田満里奈ちゃん  
(正広さん・真由美さん長女＝久須見)



つちのこ館 1階

所としても大きな意味を持つこととでしょう。  
ふるさと企画はいよいよ「夢・ロマン・情報発信ステーション」として大きく脱皮します。今後ともよろしくお願ひします。

宇造さんの日課は、朝四時に起きて、体操から始まります。「数年前に心臓と腎臓を煩ってからは、その後遺症か寒い時ほど調子が悪い。それでも一人で住んでる健康には特に気を使っています。また暖かく



愛猫チビと一緒に

現在、村には五十七人、一人暮らしのお年寄りがみえますが、第一回めは今月は、栃山の安江宇造さんのお宅を訪ねました。宇造さんは、明治四十二年生まれ、この四月に満八十四歳になります。昭和五十八年に奥さんを亡くされてから、一人暮らしをしています。

そんな宇造さんの一番の楽しみは、旅行です。昨年村老連の皆さんと一緒に伊豆方面へ旅行されたとのこと「旅行は大好きです。いつまでついて行けるかわからんけど体の丈夫なうちは方々へ旅行に行きたいですね」と元気に話してくれました。

## お話を きかせて ください

### 独居老人訪ねある記

なつてくれば、好きなゲートボールにも行けるようになるかと思うと今から楽しみですよ。

先月号までご愛読いただいた「働くお年寄り」に代わり、今月号からは、シリーズで一人暮らしのお年寄りを訪ね、いろいろなお話を聞いてみたいと思います。

一緒に食事をする同居人(り)ができませんでした。愛称「チビ」。近所でもらった子猫です。宇造さんがどこへ行くにもこの同居人は、お供をするとか。「やんちゃなやつですが、慣れてくるとかわいいもんですよ」とチビ君の紹介。

週二回ヘルパーさんの訪問日以外は、食事はもちろん自分でされますが、最近



# わたしの作品



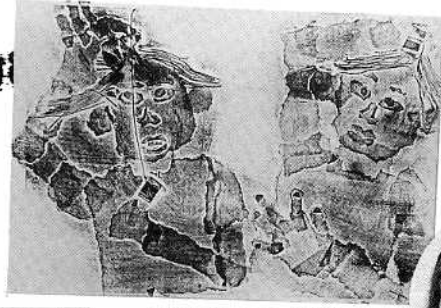
▲版画  
東白川中学校2年生  
安江三和さん(西洞)



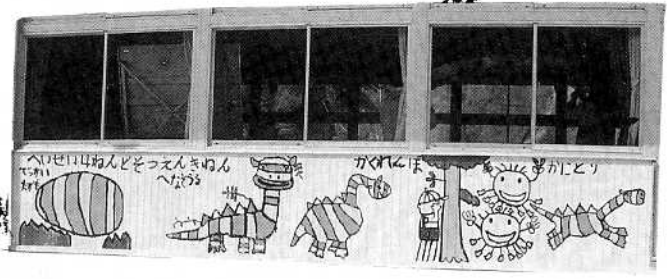
▲版画  
東白川中学校2年生今井友樹さん(柏本)



▲版画「さかあがり」  
東白川小学校2年生 齋藤 淳さん(日向)



▲版画「たこあげ」  
東白川小学校4年生  
安江麻実さん(黒淵)



▲壁画  
越原保育園卒園記念作品  
卒園児17名

## 広報文芸

### ●短歌

- 山峡の出で湯の宿はひそとして夫と二人の湯舟溢るる 安江 幸
- 春待たではかな 黄泉路の旅立ちし姫の葬りの喪の服を脱ぐ 安江 澄
- きんさんやきんさんたちを見習って迎えまいか 上次の西年 古田 宗一
- 北風の日籠りてたたみたる千代紙の鶴卓に遊ばす 今井 かな
- 春浅き土手の日向にふきのとうの小さき頭二つ三つ見ゆ 安江 龍玉
- 久々に登る路の辺孟宗は風吹くままに大きく揉み合つ 安江 節子
- がつくりと髪はくずれて春場所若き力士の奮斗つづく 三戸 きり
- バイパスの拡張工事に失いし昨日の山川独り偲びぬ 安江 守平
- 気品高く魅力もあふれる皇太子妃に国民われら胸なでおろす 安江すみよ
- 枯草の根元に青き芽覗きたり雪は残れど春近からむ 早瀬 久子
- 勤め先の名入りの袋に入れて来て息子がくれし林檎艶めく 小林 道子
- さわやかな婚約会見国民も共に喜ぶ今日の快晴 安江 順子
- 長寿なる現代の世に初春三日突然逝きし妹をあわれむ 菊田 清美
- 立春に手折りて活けし梅咲きてほのかに匂ふ待合室に 安江とくよ
- 節分の残りの豆を飯に炊けば芳しき香の部屋にし満つる 伊藤 美枝
- 間を置かず隣保の翁二人まで野辺に送りにて春は鬱々 伊藤 重雄

あなたの作品をお寄せくださいー初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します●偶数月の二十日までに神土伊藤重雄宛に出して下さい。



深まりゆく秋、東京から来村された二人の男性が白川

街道を車を走らせておられた。途中、道端で二人の女子中学生が、木の棒を持って何かしているのを見かけられた。▼四り五百り走りすぎて、「あの子達は何か思案にくれている様子だった、一度引き返してみよう」ということになり現場に戻られた。二人の女子生徒の間には、車にでもはねられたであろう猫の死骸が横たわっていた。▼舗装道路と山肌の岩では、何ともしようもなく困っているところであった。二人の男性は車から古新聞を取り出して、女子生徒と一緒に穴を掘り、死骸を葬ったというのである。▼二人の男性は、女子生徒達のやさしい心を賞賛された。私は、確かに女子生徒の行為も美しいが、車をわざわざ引き返し、一緒になつて葬つてくださった二人の男性の心に頭が下がる思いがした。